

# 患者の皆様へ

2020年 1月 17日  
消化器内科

現在、消化器内科では、「非代償期 C 型肝硬変患者におけるインターフェロン・フリー治療の長期予後効果」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では C 型慢性肝疾患の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「非代償期 C 型肝硬変患者におけるインターフェロン・フリー治療の長期予後効果」

**2. 研究の意義・目的** 「非代償性 C 型肝硬変患者におけるウイルス排除による長期予後を明らかにする。」

**3. 研究の方法** 千葉大学医学部附属病院消化器内科で、非代償期 C 型肝硬変患者に対してリバビリン併用又は非併用下でソホスブビル/ベルパタスビルの 12 週間投与を評価した第三相試験に登録され既定の観察期間が終了した患者さんを対象に、臨床データ・血液検査・画像検査等の診療情報を収集し、解析します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理し、研究代表機関である大阪大学へ提供します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院消化器教室等の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて

掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院消化器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院消化器内科 医師 加藤直也、中村昌人

043 (222) 7171 内線 5241 (消化器内科)